

表紙の写真は、この度竣工しました東京九州フェリー株式会社様の新門司フェリーターミナルです。今回北九州と横須賀を結ぶ新航路に伴うターミナル建設で、九州の特産物を関東方面に一直線で運ぶ航路です。これからの北九州の物流事業の発展に、今回の工事を通して、弊社がその一役を担えた事を誇りに思っておりますと共に建築機会を頂いたこと大変感謝致しております。

# 藤友

TOH YU



# 全国安全週間

news 01

## 安全週間 社長メッセージ

皆さん  
ご安全に



統括安全衛生責任者  
高藤元太郎

第94回安全週間スローガン  
「持続可能な安全管理 未来へつなぐ安全職場」

未だ収束しない新型コロナウイルス感染。予防も含めて様々な安全対策を現在の私たちは、課せられています。令和2年度の建設業における労働災害の死亡者数は、258人、休業4日以上死傷者数も14,977人と1万5千人を下回り過去最少となりました。

我々、建設業は、地震等の大規模災害からの復旧・復興及び自然災害への備え、国土強靱化に向けたインフラ整備など人々の安心安全な暮らしを守るという重要な役割があります。

その一方で技術者・技能労働者の不足、高齢化などの問題もかかえています。

これから暑い夏に向かっていきますが、熱中症対策など関係者が一丸となって安全管理活動を推進し安全な職場環境の意識の高揚に努めて行きましょう。

安全祈願の様子



news 02

## 安全大会を 動画配信しました。

今年の安全大会は、新型コロナウイルス感染防止の観点から、昨年同様集会形式とはせず、安全表彰の模様と社長メッセージと協会会長のメッセージを動画配信する形で開催しました。



原案通り  
全ての議案は  
書面承認数42社で  
可決されました。

news 03

## 安全衛生協力会総会を 書面決議としました。

### 議案審議について

- |       |               |             |
|-------|---------------|-------------|
| 第1号議案 | 令和2年度事業報告     | (承認42・非承認0) |
| 第2号議案 | 令和2年度決算報告     | (承認42・非承認0) |
| 第3号議案 | 令和3年度 事業計画案審議 | (承認42・非承認0) |
| 第4号議案 | 令和3年度 予算審議    | (承認42・非承認0) |

令和3年度「高藤建設安全衛生協力会第53回定時総会」は、新型コロナウイルス感染予防防止の観点から例年実施しています集会形式を行わず、会員へ書面議案を郵送しました。会員数47社、書面回収42社（議長を除く）、規約第4章第13条2項過半数の回収をもって成立しました。議案審議については上記の通りです。

news 04

## 全国安全週間 安全作品紹介

社員と家族から、安全意識高揚のためのポスター、習字、標語、バッジを募集。全80作品の応募があり、受賞は次の通りです。

### 標語の部

1位 気を抜かず コロナも危険も 対策を ADD室 伊藤 沙也香

2位 注意せよ ヒヤリハットも 事故のうち 大阪支店 吉賀 忠司

3位 慣れてきた 油断のさきに 危険の芽 大阪支店 高本 美由紀  
ヘルメット 被った瞬間 全集中 福岡支店 藤堂 真志

### 金賞



社長 高藤 元太郎

### ポスターの部

### バッジの部



### 習字の部



PICK UP!

# TAKAFUJI お仕事図鑑

最新の施工実績を、各担当者より紹介します。

## ▶ 東京九州フェリーターミナル



### 効率的な物流と、開放的かつ優雅なターミナルが完成



所長  
平場 信志

建設部所属

近年のドライバー不足や環境問題を背景に、効率的な輸送を通して物流や観光の一翼を担うことを目的に、横須賀と北九州間を21時間で結ぶ、新航路のフェリーターミナルの建設工事です。ロビー・待合室は天井も高く、海岸面がカーテンウォールという開放的なデザインとなっています。船旅を楽しみたい旅客が、出発する前から優雅な気持ちになれる空間が誕生しました。

■発注者／東京九州フェリー株式会社様 ■工事名／新門司北10号岸壁フェリーターミナル建設工事 ■設計監理／高藤建設株式会社一級建築士事務所 ■工期／2020年9月1日～2021年5月31日 ■規模／鉄骨造3階建て 床面積2,067.61㎡ ■所在地／福岡県北九州市



## ▶ 鶴丸海運日明上屋



### 野積鋼材ヤードの上屋を建設 円滑な荷役作業が可能に！



所長  
杉 直哉

建設部所属

日明北埠頭地区での新たな試みで、港湾施設である野積鋼材ヤードに上屋を建設しました。岸壁に停泊した運搬船から直接荷役できる軌条式台車を設置することで、内部の天井クレーンと連動したシステムによる円滑な荷役作業が可能となり、鋼材の多様化するニーズに対応しています。関係者各位のご指導、ご協力のもと無事竣工できたこと、お礼申し上げます。

■発注者／鶴丸海運株式会社様 ■工事名／鶴丸海運日明4岸鋼材上屋建設工事(公共上屋) ■設計監理／高藤建設株式会社一級建築士事務所 ■工期／2020年7月1日～2021年4月30日 ■規模／鉄骨造平屋建て 延床面積 2,846.49㎡ ■所在地／福岡県北九州市



PICK UP!

# ただいま施工中

現在施工中の物件を各担当者より紹介します。

## ▶ 北九州八幡東病院



### 地域から注目される現場。重大事故防止に努めます



所長  
江木 一雄

建設部所属

基礎工事も無事完了し、6月より1階躯体工事に着手しています。クローラクレーンを2基配備し、JR及び都市高速、国道3号線からも目を引く、注目度の高い工事現場です。上階に行くほど重大事故が発生しやすくなるリスクが高まるため、今後は十分配慮しながら、日々の安全施工サイクルの充実を図り、快適な職場づくりを心掛け、スタッフ一同、努力していきます。

■発注者／社会医療法人北九州病院 ■工事名／北九州八幡東病院移転新築工事 ■設計監理／株式会社内藤建築事務所九州事務所 ■工期／2020年12月1日～2022年7月31日 ■規模／鉄筋コンクリート造(一部鉄骨造)地上6階建て 床面積19,990.1㎡ ■所在地／福岡県北九州市



## ▶ 下大利店舗



### 住まいと店舗が融合したまちづくりを福岡支店で進行中！



所長  
竹元 一郎

福岡支店所属

「住まいと店舗のまちづくり事業」と題した九州旅客鉄道様の事業で、敷地内には分譲マンションや有料老人ホーム、当社施工のイオン九州株式会社様の店舗が入る大型プロジェクトです。現在、1階の床を2工区に分けて施工中、その後2階立上壁の施工を予定しています。住宅街やバス道路に面しているため、近隣への影響を最小限へ抑え、安全作業に努めています。

○本体工事 ■発注者／九州旅客鉄道株式会社様 ■工事名／下大利店舗(SM)新築工事(公共上屋) ■設計監理／九州旅客鉄道株式会社一級建築士事務所様 ■工期／2020年2月10日～2022年1月31日 ■設計／株式会社山下設計様 ○テナント工事 ■発注者／イオン九州株式会社様 ■工事名／イオン下大利店新築工事 ■設計監理／株式会社スダック様 ■規模／鉄骨造2階建て ■床面積／2,465.53㎡ ■所在地／福岡県大野城市



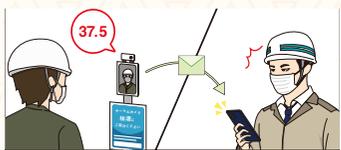
# TAKAFUJI TOPICS

## 01 サーマルカメラを導入して感染拡大予防に

各現場にサーマルカメラを設置し、現場員や作業員の検温を毎日行なっています。サーマルカメラはカメラの前に立つと自動で検温するため、検温のために人員を割く必要がなく現場員が多くの人と接触する機会を減少させ、非接触で検温することが可能になりました。



サーマルカメラで検温した際に、設定した温度以上の体温を検知すると現場責任者にメールで通知が送られます。そのため、現場責任者が素早く発熱の疑いがある作業員へ対応することが可能になりました。また、作業員の名簿とサーマルカメラ検温時の画像データを連動することで、誰がいつ入退場したのかがわかります。今後は連動したデータを活かしさらに活用できるよう努めてまいります。



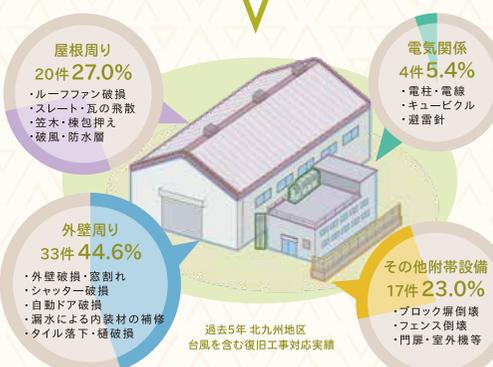
## 02 早め早めに風水害の備えを!!

今年も台風の月別進路予想が発表されました。8月から10月にかけて台風が日本列島に接近する予想となっています。特に、8月は台風だけでなく、ゲリラ豪雨も多く発生する時期です。台風やゲリラ豪雨は事前に対策をとることで被害を最小化することができます。本格化するシーズンを前に災害への備えを見直してみたいかがでしょうか。



▲2021年台風進路予想

万が一、被害を受けた場合は二次災害を起こさない事に留意しましょう。台風など通過後①調査・②判定・③応急・④本復旧と適時適正な手順での対応が肝要です。



### Check 1

屋根・外部周りの鉄部等腐食の激しい箇所については一度飛散すると第三者被害にも繋がります。錆び・割れ・めくれ・ひび等目視での点検から始める事をお勧めします。  
※ドローン点検は当社でも調査をサポートします。

### Check 2

漏水は早めの措置が有効です。通常の降雨で気付いた漏水をいつも早めに措置する建物は思わぬ風水害にも耐えています。

### Check 3

飛散と漏水を防ぐため養生テープ・ブルーシート・ベニヤ板・ロープや土のうなどの備蓄。

## 明日に希望を あすにきぼうを

コロナ禍の影響で暗い不安な時代になっています。先行の不透明は更に不安が募ります。「不況」、「失業」、「絶望」、「虚無」等々。

しかし、暗い時代だからこそ、明るく元気に生きることが大切です。明確な目的地を持って航海すれば、嵐にも堪えられますが、ただなんとなく生きていくことは、漂流することになり不安になります。「こうだから、こうなった」ではなく「こうだからこそ、こうなれた」という事が必要です。大きく変わる時代「コロナ禍でこうなってしまった」ではなく、「コロナ禍だからこそ、こうなれた」、「変わることが出来た」、「発展につながった」という様にならねばなりません。

例えば、我々の業界でも大手企業には出来ない、中小企業だから、地元企業だから出来ることがたくさんあります。徹底したアフターサービス、台風や大雨の後の点検、小廻りのさく補修工事、建物の定期点検システム、地元密着の経営。大手企業の盲点をサポートすることが出来ます。中小企業だからこそ、地元企業だから出来る事に集中することです。

以前、明治生まれの先輩から、自分達の時代は国力も弱く国も個人も貧しい時だったが「心の筋肉」は鍛えていたので、今の人達と違う強い精神力を持っていると言われましたが、本当に明治生まれの人々の気骨、精神、困難を乗り越える力には頭が下がります。我々も学ばねばと思います。

「明日という字は明るい日と書くの」という歌詞がありましたが、明るい明日を信じ、「朝の来ない夜はない」の言葉通り一途に精進努力を続けることで明るい未来が待っています。

また、この時代次のことが求められます。

- 一、信ずること(必ず一本の白い道があることを。)
- 二、続けること(継続の力)
- 三、試練から逃げないこと(困難に勇気をもって立向うこと)



相談役 高藤 昌和